

2024-25
第4回例会
2024.7.31

国際ロータリー第2530地区 県北第一分区

福島南ロータリークラブ会報



会員 77名中 54名出席 70.13% 修正 58名 75.32% メイクアップ 4名

例会会場/ウエディング・エルティ TEL 024-535-6188 毎週水曜日 12:30~

◆会長あいさつ 赤間浩一会長

まずはお越し下さいましたお客様をご紹介します。

ロータリー財団 グローバル補助金 奨学生 赤城 みう 様。

国際ロータリー第2530地区 ロータリー財団委員会 前年度委員長 田久昌二郎様。

同じく ロータリー財団委員会 今年度委員長 林 克重 様。

同じく ロータリー財団委員会 副委員長 佐藤 龍史 様。

同じく ロータリー財団委員会 グローバル補助金委員会 委員長 穴戸 宏行 様。

福島中央ロータリークラブ ニコニコBOX委員会 委員 植木 宏隆様。

ようこそお越しくださり、誠にありがとうございます。林委員長は当クラブ会員ですが、本日は地区からのゲストとしてお越しいただきました。

また、赤城様には後ほどスピーチを頂くことになっておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、先週 私の携帯電話に林さんから連絡がありました。

内容は、お亡くなりになられました武藤正隆元会員の奥様より林さんに連絡があり、福島南ロータリークラブに寄付をしたいという事を告げられ、事務局でお渡ししたいので日程が決まったら一緒に事務局で受け取って欲しいと言う内容でした。

私は、ご寄付を頂けるのであれば、是非例会の中で武藤先生の仲間の前で頂けませんかと林さんに問いましたが、林さんも同じ気持ちだったので、既に打診はしてあった様ですが、奥様から難しいと回答があり事務局で受け取る事となりました。

そして、今週の月曜日7月29日に奥様と林さんと事務局にて待ち合わせをしました。

奥様はとても言葉使いが綺麗だったのが印象で、最近の奥様は必ず1日ひとつ目標をもって行動していると仰っており、そんな日常の夜には子供たちに自分のその日の出来事をラインで一方向的に報告していると仰っておりました。

また、ロータリーと全く関係ない方がゴルフ場で武藤先生と鈴木恒昭さんとのやり取りを見てそのような関係性を羨ましく思い、このような先生に顧問をお願いしたいとお仕事を頂いたこともあったそうです。

昨年は武藤先生の体調も悪くはなかったようで、奥様とロータリー歴43年間での様々な出来事を振り返っていたそうで、時折涙ぐみながらそんなお話を聞かせて頂きました。

そして最後にスマイリングボックスへの寄付とロータリー財団、そして米山記念奨学会への寄付をロータリークラブの皆様へのお手紙と共に沢山頂戴しましたので、

感謝を込めてそのお手紙を代読させて頂き、会長挨拶と致します。



◆新会員スピーチ 大内重行会員



私は仙台市出身で、7月28日に62歳になりました。家族は5人で、最近下の娘が結婚し、孫が3人います。1986年に東北電力に入社し、主に用地部門で働いてきました。2011年の震災と豪雨被害の際には、福島の水力発電所の復旧を担当しました。現在は、変電所や送電線などのネットワーク設備を管理しています。安定した電力供給を使命とし、再生可能エネルギーの発展にも努めています。本ロータリークラブで皆様と共に学び、交流を深めたいと考えております。

◆新会員スピーチ 箭内祥恵会員



こんにちは、5月に新会員として入会した箭内祥恵です。福島市出身で、結婚後も旧姓を使用しています。平成21年に司法書士登録をし、約15年間勤務した後、今年4月に独立しました。

司法書士として不動産登記や会社法人登記、裁判所提出書類の作成、遺言の作成、後見業務などを行っています。相続手続きでは多くの感情的な問題に対処することが求められ、橋渡し役としての役割が重要です。登記業務は将来的にAIに代替される可能性があります。人間の感情に対応する仕事は人でなければできないと感じています。福島南ロータリークラブに温かく迎え入れていただき感謝し、ロータリーの精神を実践する人間として努めます。よろしくお願いいたします。

◆グローバル奨学生ゲストスピーチ 赤城みう様

こんにちは、東北大学文学部4年の赤城みうです。この度、グローバル補助金の奨学生に選ばれ、パリ政治学院の修士課程に入学します。将来はジャーナリストとして、平和構築と紛争予防に貢献したいと考えています。特に、現地取材を通じて重要な情報を発信し、市民が行動や投票を通じて世界平和に関心を持てる社会を目指しています。パリ政治学院では、国際政治、外交、人権、グローバル経済、国際法などを学び、ジャーナリストとしての知識と経験を深めます。ロータリークラブの支援に感謝し、パリでも積極的に活動していきます。今後ともよろしくお願いいたします。



クラブ会報委員会よりお願いです

会報委員会ではペーパーレスを進めていき、今後年会費が上がる可能性を少しでも減らして行きたいと思っています。次回からは例会テーブルに置いてあるQRコードを読み取りスマホでご覧いただければ幸いです。スマホで見られない場合は、メールでURLをお送りしますのでそちらからご覧ください。

写真が小さくなって申し訳ありませんがホームページを見ていただければ写真も大きく、文字も大きくしてみる事が出来ます。下のQRコードよりホームページをご覧ください



◆委員会活動報告 渡辺雅浩社会奉仕委員長

福島リトルリーグさんに全国大会出場の「激励金」を贈呈して来ました。

この度、当クラブが「大声杯」等で支援させていただいている福島リトルリーグが、AIG プレゼンツ MLB CUP 2024 東北連盟大会で見事優勝、全国大会（宮城県石巻市で開催）に東北代表として出場することになりました。

福島南 RC では、赤間浩一会長と渡辺雅浩社会奉仕委員長が、休日に福島リトルリーグが練習している福島市荒川運動公園を訪問させていただき、大会出場の「激励金」をお渡し、今後の更なる活躍を約束して参りました。



◆委員会活動報告 齋藤高裕青少年奉仕委員長

8月2日に黒岩の福島県青少年会館にて I A C 年次大会にホスト RC として出席してきました。

おかげさまで他地区ロータリーアンの皆様から好評を得ました事をご報告申し上げます。

（生徒さんたちの活躍、先生方の頑張りが評価されたものと思っております。また講演も近年になく良かったとのお声を頂きました）

皆様のお力を得て無事サポートできたものと感謝申し上げます。



武藤先生の奥様からスマイリングボックスへの寄付とロータリー財団、そして米山記念奨学会への寄付をロータリークラブの皆様へのお手紙と共に沢山頂戴しましたのでお手紙を会報に掲載させていただきます

福島南ロータリークラブの皆様へ

夫武藤正隆は、13年余前に患った癌により、本年（令和6年）1月に東京の介護施設に入居して治療を受けてきましたが、6月2日に永眠しました。

夫は、昭和55年6月に福島南ロータリークラブに登録して43年余、毎週水曜日のお昼に多種多様な職業の会員（仲間）と顔を合わせて集い、会員やゲストスピーチらの知識や経験談を聞いて仕事に役立てて来たこと、加えて無二の親友を得ることが出来たことは最大の喜びと話していました。

毎年、家族参加の観桜会や夏祭りの縁日・素麺流し、クリスマスパーティのくじ引きやプレゼント交換・豪華な食事等の行事は、子供も私も楽しみでした。

また、国際親善を目的の海外旅行に夫婦で何ヵ所か参加しましたが、旅行前から行程表を見ては本物の美術品等を見れることに私の胸はワクワクし、成田空港に向かうバスが発券するとお喋りやカラオケが始まり賑やかで楽しかったです。近年は、夫婦で訪問した先の景色や美術館等をテレビで見ながら懐かしく思い出したり、旅行中のアクシデントが蘇ったり、参加者とお話したことや実体験した時の気持ちを話したり、皆様と旅行できたことが大切な思い出となっていました。

夫は、ロータリアンとして活動する中、奉仕の理念を奨励して、事業においては高い倫理基準をもって行動し、若い人々を公私ともに指導したり、世界中の人々の生活の質をたかめる等、信念を持ちながら活動してきました。それは先輩からの数々のご指導を頂いたことで成しえたものであります。ロータリアンの夫を介して私も同様に南ロータリークラブには大変お世話になりました。ありがとうございました。

夫は、今年のクリスマスパーティ例会を最後に福島南ロータリークラブを退会しました。長年、お世話になった会員とご家族の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、御礼の気持ちとさせていただきます。

2024年 7月29日

武藤正隆（妻）

武 藤 永 子